

平成25年10月3日 出雲市民会館

資料 2

ICTフォーラム in 神話の国出雲
～「超高齢社会」医療・健康に活かすICT～

『地域包括ケアシステムと まめネット』

特定非営利活動法人しまね医療情報ネットワーク協会
理事 杉浦 弘明

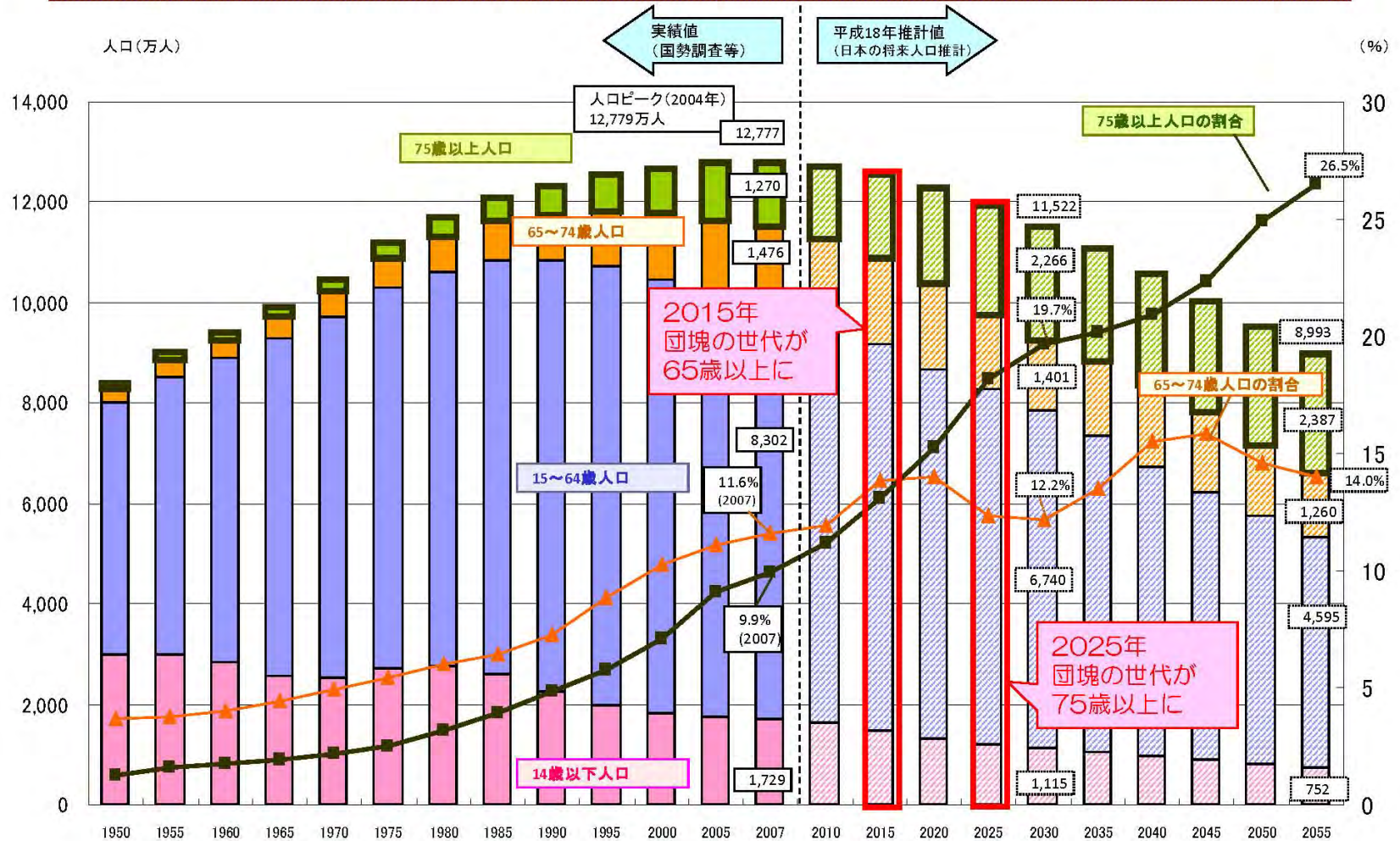
- **超高齢化社会到来**
- **地域包括ケアシステム**
 - 住む
 - 理想的な在宅医療をすごすための場所と介護力
 - 機能強化型在宅療養支援診療所
- ITの利用（電子カルテ連携、まめネット）
- 在宅医療における診療機器

超高齢化社会の到来

65歳以上人口割合 >21% ~2007

75歳以上高齢者の増大

○ 我が国の75歳以上人口の割合は現在10人に1人の割合であるが、2030年には5人に1人、2055年には4人に1人になると推計されている。



資料: 2005年までは総務省統計局「国勢調査」、2007年は総務省統計局「推計人口(年報)」、2010年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)中位推計」

- 超高齢化社会到来
- 地域包括ケアシステム
 - 住む
 - 理想的な在宅医療をすごすための場所と介護力
 - 機能強化型在宅療養支援診療所
- ITの利用（電子カルテ連携、まめネット）
- 在宅医療における診療機器

地域包括ケアシステム

2025年(団塊の世代が75歳以上)をめぐり

重度な要介護状態(特に認知症増加)でも

住み慣れた地域で人生の最期まで 自分らしい暮らし方ができるよう

住まい・医療・介護・予防・生活支援が保険者(市町村・都道府県)により一体的に提供される。

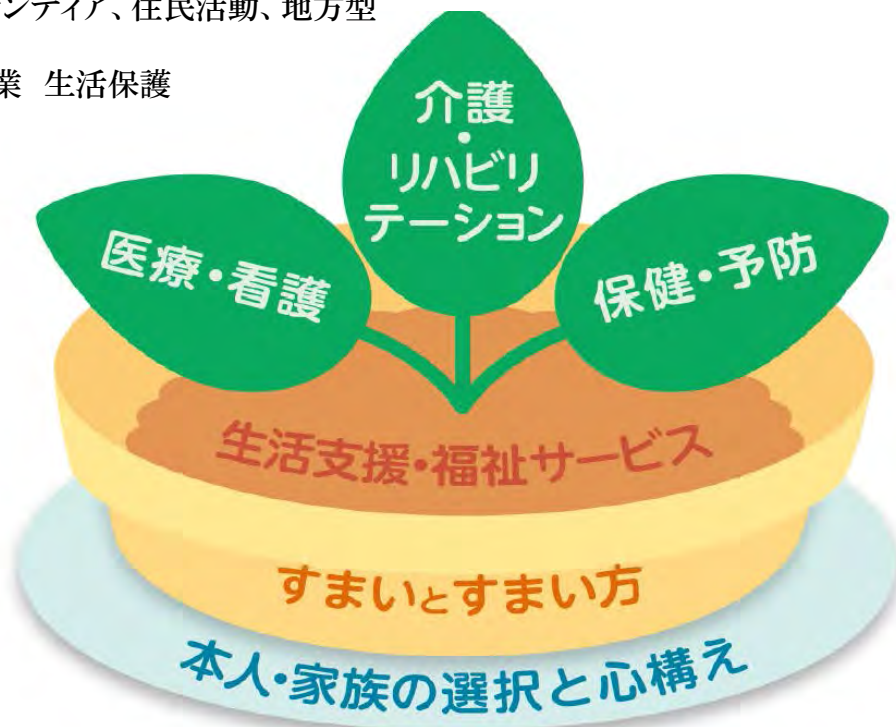
自助、互助 > 共助、公助

自助 (民間、自己資金) 自分のことは自分で、自らの健康管理、民間サービス

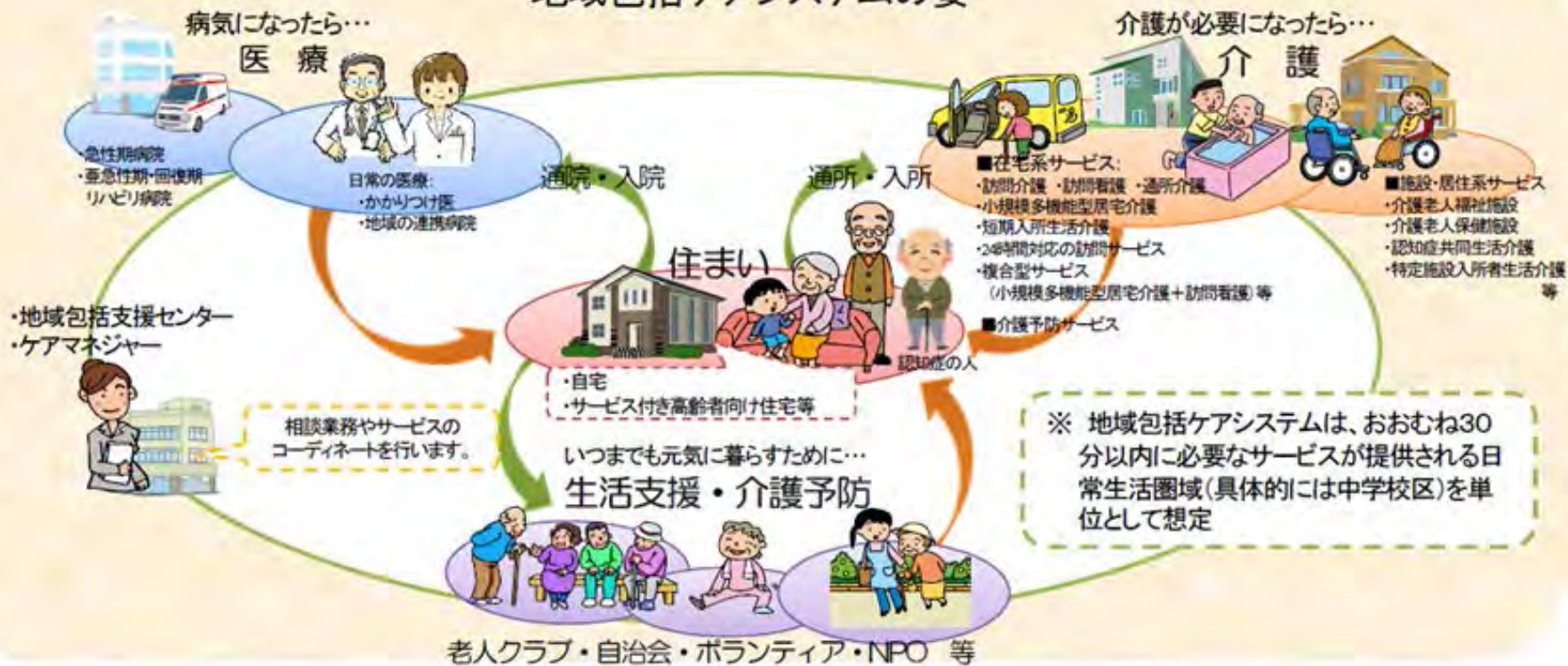
互助 (住民活動、NPO) ボランティア、住民活動、地方型

共助 (介護保険)

公助 (税金) 高齢者福祉事業 生活保護



地域包括ケアシステムの姿



- 超高齢化社会到来
- 地域包括ケアシステム
 - 住む
 - 理想的な在宅医療をすごすための場所と介護力
 - 機能強化型在宅療養支援診療所
- ITの利用（電子カルテ連携、まめネット）
- 在宅医療における診療機器

自宅で療養



家族の介護 (移動い 風呂ろ 排泄は 認知に 食事ごはん)

+

ケアマネジャー 又は 地域包括支援センター
介護事業所(ホームヘルパー)

訪問看護ステーション

訪問診療(在宅支援診療所) 又は 外来通院

自宅と施設を両方使い、療養



通い・宿泊・訪問を、
地域の要介護高齢者
の必要なケアの形態
に合わせて、24時間
365日体制で支援を行
います
登録 25名まで

小規模多機能ホーム

高齢者専用住宅に住む



サービス付き高齢者向け住宅

見回りなどの安否確認や
生活相談サービスを提供する中間所得層向けの住宅。

外部の介護サービスを利用
管轄 厚生労働省と国土交通省の共管

住宅を安く提供し、集会的・効率的な介護サービスを提供して介護保険で利益を挙げる
ビジネスモデル



有料老人ホーム

特定施設：内部の介護サービス

要介護高齢者3名に対して1人以上の介護看護スタッフ、要支援高齢者10名に対し
て1人以上の介護看護スタッフによって、介護サービスの提供。

住居型：外部の介護サービスを利用する

管轄 厚生労働省

共同で住む・・・施設



認知症を持つ高齢者が
9人以下の少人数で共
同生活

認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

自宅復帰を目指す施設



介護老人保健施設(老健)

看護、医学的管理の下における介護およびリハビリテーション等を通して家庭復帰を目指す施設。



介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

日常生活において常に介護が必要で、自宅では介護ができない方が対象。

ユニット化が進み、より重度者向けの施設となる。低所得者層の受け皿としての機能もある。

- 超高齢化社会到来
- 地域包括ケアシステム
 - 住む
 - 理想的な在宅医療をすごすための場所と介護力
 - 機能強化型在宅療養支援診療所
- ITの利用（電子カルテ連携、まめネット）
- 在宅医療における診療機器

機能強化型在宅支援診療所

2012年診療報酬改定

- 1 所属する常勤医師が3名以上
- 2 過去1年間の緊急の往診実績5件以上
- 3 過去1年間の看取り実績2件以上

24時間365日体制

すぎうら医院在宅診療実績

平成25年4月1日から8月22日

全訪問患者件数 : 33件

内訳

自宅 : 17件

高齢者専用住宅 11件 (2か所)

看取り : 4件

取りやめ : 1件

自院の外来患者 : 10件

診療所からの紹介 : 2件

病院からの紹介 : 8件

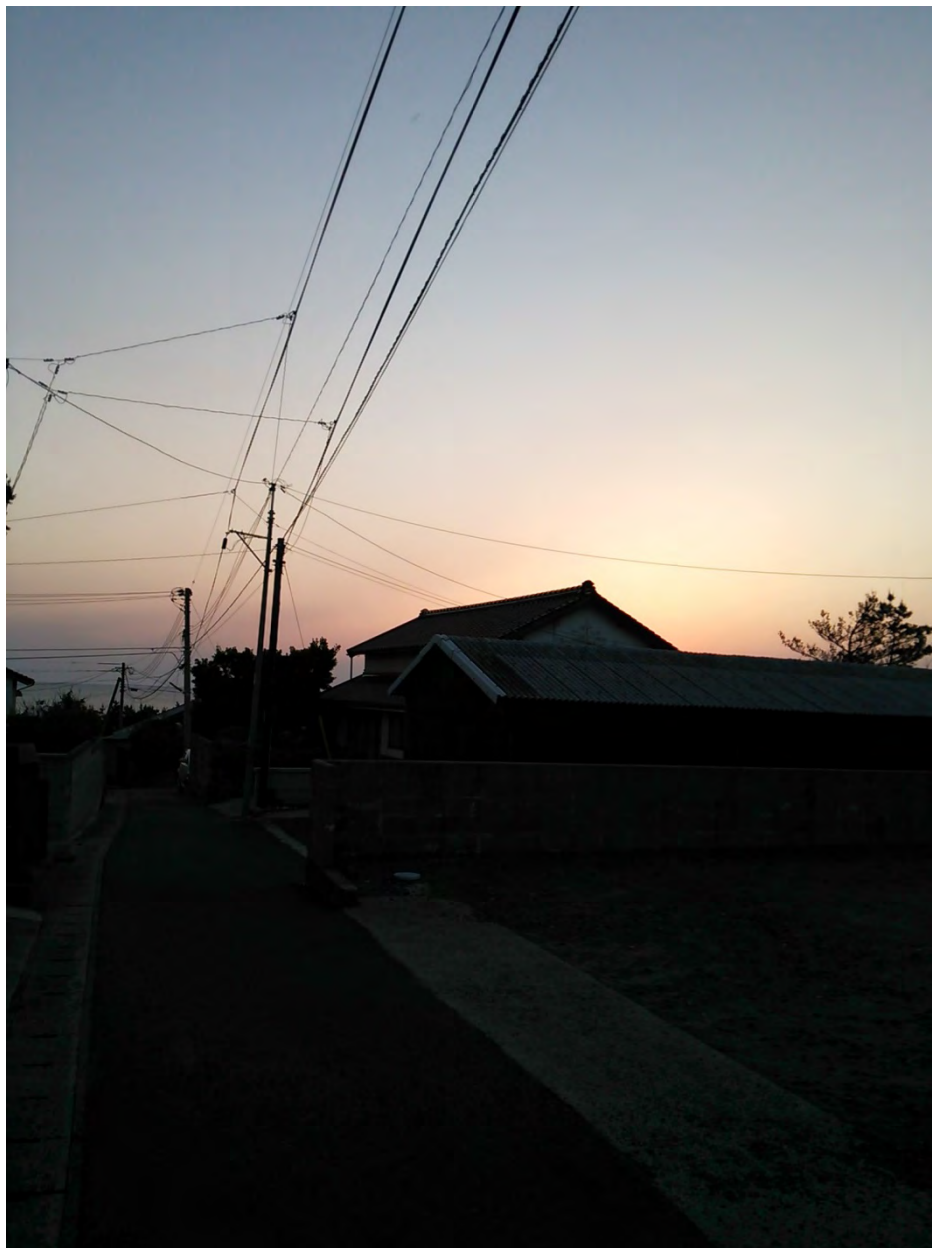
訪問看護ステーションからの紹介 : 3件

サービス付き高齢者向け住宅からの紹介 : 10件

訪問風景 漁村



訪問風景 海辺の家の夕暮れ



訪問風景 サービス付き高齢者向け住宅



訪問風景 サービス付き高齢者向け住宅



一人部屋 サービス付き高齢者向け住宅



夫婦部屋 サービス付き高齢者向け住宅



- 超高齢化社会到来
- 地域包括ケアシステム
 - 住む
 - 理想的な在宅医療をすごすための場所と介護力
 - 機能強化型在宅療養支援診療所
- ITの利用（電子カルテ連携、まめネット）
- 在宅医療における診療機器

在宅診療におけるITの活用 往診専用端末(Web, ポケットWifi) 連携医療機関の登録患者の相互閲覧機能



iPadも利用



地域包括ケアシステムにおける 全県下医療情報ネットワーク(まめネット)の活用

多職種が絡む地域包括ケアシステムには情報の一元化が有効



まめネットの特徴

SS mixに標準化ストレージ
ベンダフリーによる 参入障害の撤廃
全県での運用

+

地域医療再生基金で運用
新しく HPKIの運用

参加同意書

島根県医療情報ネットワーク運営主体 財
島根県医療情報ネットワーク参加機関 殿

私は、同意説明書（島根県地域医療支援会議医療IT専門部会 2012年9月10日決定）により説明を受け、以下の事項に同意します。
また、私は、同意説明書と本同意書の控えを受け取りました。

1. 事業参加・公開の同意

私は、「しまね医療情報ネットワーク」に接続している医療機関等で医療サービスを受けたときは、そこで発生した診療情報を、島根県医療情報ネットワークを利用して、「連携カルテ」に登録し、一元的に収集・管理することに同意します。

2. 閲覧同意 本事業に参加済みの場合は、 にチェック

私に対する医療サービスを目的として、下標記「参加機関」の医療従事者が閲覧することに同意します。

閲覧を許可する参加機関名称

すまね医療

3. 例外的な閲覧に関する同意

以下の例外的な閲覧についても同意します。

- (1) 個人の特定・紐付のためにあなたの個人情報を参照する場合において、あなたの氏名、住所、性別、生年月日、電話番号を、全ての参加機関で、システム利用権限を有する者が閲覧すること
- (2) あなたが、意識不明になるなど意思表示ができない場合であって、生命または身体を保護するために緊急に医療上の処理が必要な場合において、(1)において閲覧可能な情報に加え、過去医療サービスを受けた参加機関名とその期間、病歴、アレルギー情報、検査情報、処方・調剤歴、その他緊急処置に必要な情報を、緊急処理に従事する医師が閲覧すること
- (3) システム管理上やむを得ない場合においてシステム管理者がデータ閲覧すること

<患者さん記載欄>

平成 25年 / 月 8 日

氏名: 杉本

住所:

生年月日: 明治・大正・昭和・平成

電話番号:

(代理者記載の場合)



島根大学
SHIMANE UNIVERSITY

島根大学医学部



参加同意受付コーナー



まめネット 参加同意受付コーナー

参加同意の意思表示について
まめネットに同意・参加するには
同意カードを提示しよう



メニュー **固定しない**

患者受付

連携カルテ

地域連携パス

共用ファイル

紹介状

診療・検査予約

ネット健診

画像中継

利用者設定

利用サービス一覧

まめネットからのお知らせ

[2012/12/27 平成25年1月「まめネット」本格稼働](#)

掲示板

検索条件: 表示件数:

new 地域医療崩壊に向けたフォーラムの開催(25.1.13)

20120531_医療法施行規則の一部を改正する省令の施行について

20121102_医療施設における今冬の電力需給対策について

20121102_医療施設運営費等補助金交付要綱の改正通知について

20120928_障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等

全て

文書分類: 全

検索

保存







共通

カレンダー

イベント

基準日: 2013/01/11

中
7366
明
分類
診療科

											2012 2/27	3/7	2013 1/11
 SOA											 1	 2	
 放射線検査												 1	
 その他												 1	

電子署名による 文章管理の迅速化、効率化 (今月より全県運用開始)



(管理番号: 3370)

診療情報提供書

平成25年08月16日

医療法人医純会すぎうら医院
 内科
 杉浦 弘明 先生御侍史

医療法人児王医院
 内科・胃腸科
 児王 和夫
 電話番号: 0853-43-2001
 F A X : 0853-43-2027

医師ネット
 電子署名済
 日本医師会
 認証局

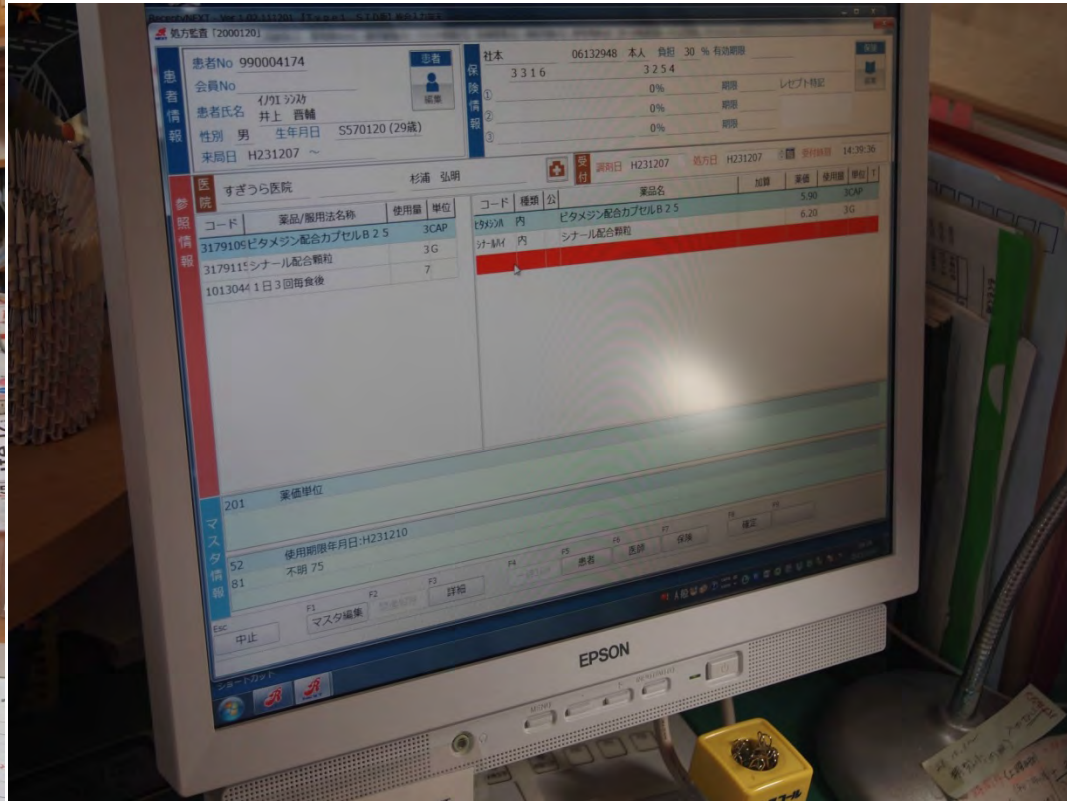
フリガナ テスト 2 患者氏名 テスト 2 性別 男 生年月日 昭和30年05月10日 (58歳) 患者住所 〒699-0816 島根県出雲市湖陵町大池 電話番号 000	患者名 氏名 紹介目的 貴科精査加療 症状、治療経過及び検査結果 テスト送信しますよろしく 現在の処方 薬物アレルギー 備考
--	--

日医HPKI SignedPDF Verifier

署名者: Kazuo Kodama
 医師が署名した文書です

OK

処方せんの電子化、医薬連携（来年度より全県運用開始）



- 超高齢化社会到来
- 地域包括ケアシステム
 - 住む
 - 理想的な在宅医療をすごすための場所と介護力
 - 機能強化型在宅療養支援診療所
- ITの利用（電子カルテ連携、まめネット）
- 在宅医療における診療機器

ポケット型超音波診断装置



堅牢設計の高機能超音波診断装置



血液ガス分析装置



充電式生化学分析装置



電子カルテ用 PCを利用した USB型心電図



まとめ1

理想的な在宅医療を すごすための場所と介護力

在宅医療の理想 : 住み慣れた自宅で家族とともに過ごす。

家族の介護力が必要。

訪問による介護サービス、看護、医療も移動時間を考えると非効率だが理想を追い求めるべき

次善として 高齢者専用住宅で集約的に 介護、看護、医療資源を投入

まとめ2

地域包括ケアシステムと 在宅療養支援診療所

在宅医療における中心的な役割

患者に対する窓口

24 時間体制の往診

訪問看護等との提供体制

避けられない「死」を視野にいれた行動

まとめ3

地域包括ケアシステムとIT

治療 ケアに貢献
広域
多くの職種
タイムリー
事務の省力化
費用削減

ご清聴ありがとうございました。

芽が出たばかりの「まめネット」と
すぎうら医院の在宅診療部

成長して皆様のご健康に役立つよう

見守ってください

よろしく願いいたします。

